

Interview



(後左から)伊藤清さん・麻美さん

(前左から)夏帆ちゃん・清春くん 迫町仮屋

【麻美】近所で開催されるお祭りだったので、家族と来ました。【清】1年ほど前に30年ぶりにUターンしてきました。復活すると聞いて来ました。久しぶりに同級生に会うことができました。【2人】祭りで顔見知りができたり、世代を超えた交流ができるのはいいですね。今後も続けてほしいです。

以前の盆踊り大会は、北方地域の青年会が中心になり開催していましたが、1988年から、長沼花火に移行する形で途絶えていました。2014年に、北方地区地域づくり計画を立てる際、ワークショップを開催したところ、盆踊りの復活を望む声があったことから「地域の宝・地域活動」として計画に盛り込みました。

齋藤輝雄さん 北方公民館長



「平成最後の年に何かしよう」ということになり、約30年ぶりの開催に変わりました。北方地域の人は、変わってやるとうとすると快く受け入れてくれます。イベントにも積極的に参加してくれて協力的。誰でも温かく受け入れる器の大きさを感じます。今後は、もっといろんな人や若い人たちにも関わってもらい、地域を活性化させたいですね。他では思いつかない、北方ならではの新しいことを取り入れ、地域の宝を生かしていきたいです。

当日は約500人が来場し、復活した盆踊りを楽しみました。屋台も縁日も大盛況。北方地域の人は、変わってやるとうとすると快く受け入れてくれます。イベントにも積極的に参加してくれて協力的。誰でも温かく受け入れる器の大きさを感じます。今後は、もっといろんな人や若い人たちにも関わってもらい、地域を活性化させたいですね。他では思いつかない、北方ならではの新しいことを取り入れ、地域の宝を生かしていきたいです。



ミニ花火大会も開催。手作りのナイアガラ花火に会場からは大きな拍手が



盆踊り後には、大抽選会を開催。軽快なアナウンスで盛り上がる参加者



盆踊り大会に向けて「くるくる音頭」の振り付けをした高橋信子さんを講師に踊りの復習



復活!!盆踊り大会 8月18日開催
主催 北方地区コミュニティ推進協議会、北方公民館

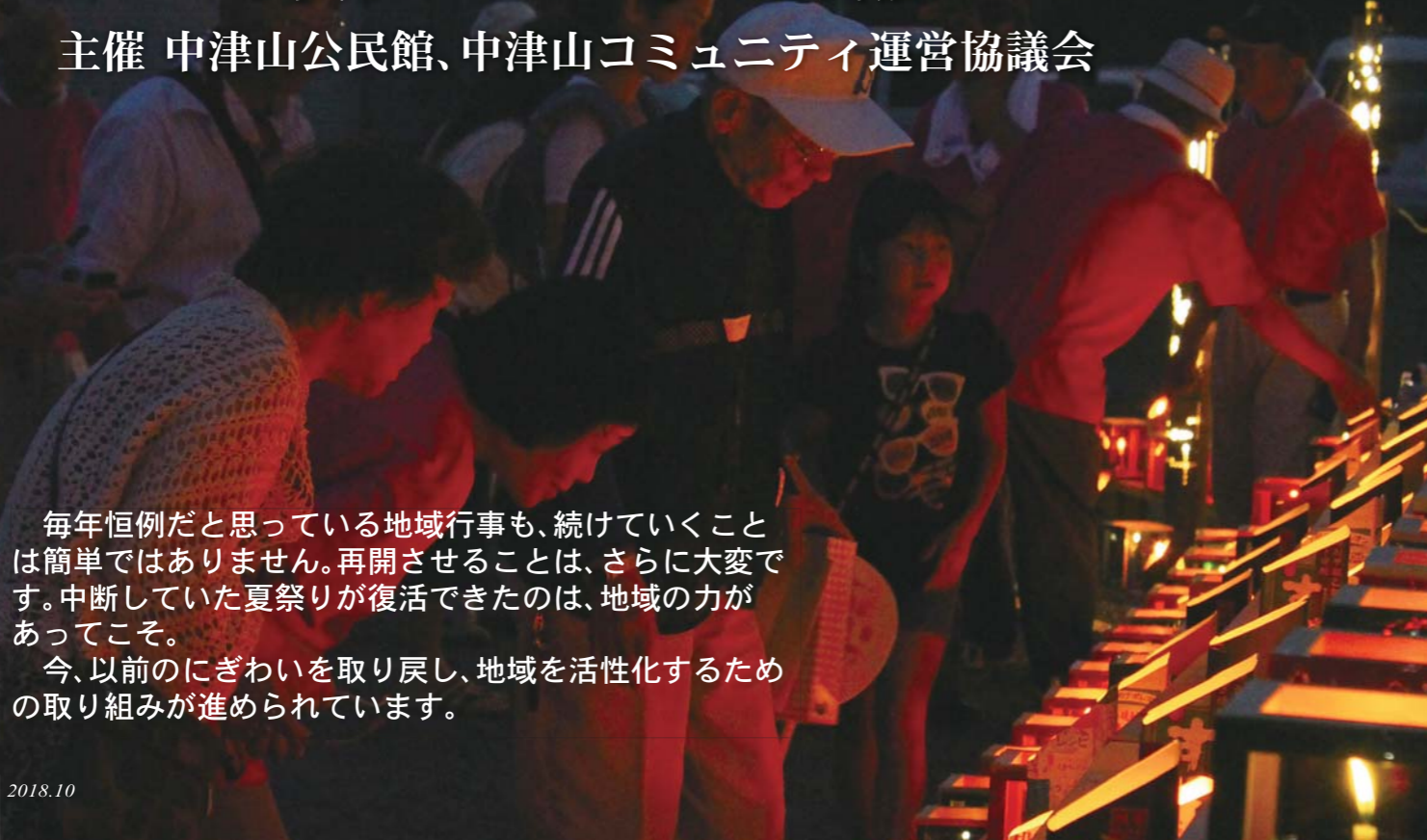
地域のチカラで

祭り復活

地域の恒例行事、夏祭り。この夏、市内で2つのイベントが復活しました。一時は中断していたイベントが数十年ぶりに復活するまでと、平成最後の登米市の夏祭りを写真で振り返ります。

なかつやま夏まつり 8月12日開催

主催 中津山公民館、中津山コミュニティ運営協議会



毎年恒例だと思っている地域行事も、続けていくことは簡単ではありません。再開させることは、さらに大変です。中断していた夏祭りが復活できたのは、地域の力があってこそ。

今、以前のにぎわいを取り戻し、地域を活性化するための取り組みが進められています。

Interview



大目しげ子さん 米山町清水

家が近いので昔も祭りに参加していました。洋服で参加することが多かったのですが、今日は、20年ぶりの盆踊りなので浴衣で。下駄が履き慣れなくて大変でした(笑)。盆踊りの練習会にも参加しました。振り付けを間違えることもありましたが、みんなで踊るのは楽しいですね。来年も楽しみにしています。



馴染みある米山音頭が流れると、自然と輪になり盆踊りがスタート

「キャンドルナイト」を計画。先祖供養や願い事を短冊に書いて飾りました。キャンドルの木枠は中津山商工振興会の協力で40個作ってもらい、それとは別に30個分の材料を提

供してもらい、中津山コミュニティ運営協議会の高齢者部会が組み立てました。牛乳パックのキャンドルも募集し、多くの人が「イベント作りに参加できる」方法を考えました。盆踊りも実施。中津山小PTA役員の皆さんが率先して声掛けをしてくれたおかげで、子どもたちや保護者、おじいさん、おばあさんなどが参加し、予想を上回る人数の踊りの輪ができました。地域の絆やパワーを感じ、感動した瞬間でした。時期や運営方法などに反省点もありますが、全体としては成功。少しずつでも改善しながら続けていきたいですね。



芸能コーナー用のステージに、ボランティアスタッフがちょうちんを飾り付け

鈴木美広さん 中津山公民館長



2002年に中断した夏祭りを約20年ぶりに開催しました。地域ぐるみで気軽に参加できるイベントが、中津山地域の一体感を作り出し、地域活性化につながるのではな



中津山コミュニティ運営協議会高齢者部会の皆さんの協力でキャンドルを組み立て